

問1 江戸時代に起きた次の4つの出来事、「島原・天草一揆」「生類憐みの令の発出」「田沼意次の老中就任」「大塩平八郎の乱」を、年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 島原・天草一揆、生類憐みの令の発出、田沼意次の老中就任、大塩平八郎の乱 | 2. 生類憐みの令の発出、島原・天草一揆、田沼意次の老中就任、大塩平八郎の乱 | 3. 島原・天草一揆、田沼意次の老中就任、生類憐みの令の発出、大塩平八郎の乱 | 4. 島原・天草一揆、生類憐みの令の発出、大塩平八郎の乱、田沼意次の老中就任 |
|--|--|--|--|

問2 18世紀後半から19世紀にかけて、日本では江戸時代後期にあたります。この時期、イギリスから始まり、蒸気機関などの発明によって生産の仕組みが手作業から工場制機械工業へと劇的に変化した動きを何と呼びますか。（2016年 歴史公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 産業革命 | 2. ルネサンス | 3. 十字軍の遠征 | 4. フランス革命 |
|---------|----------|-----------|-----------|

問3 江戸幕府が大名に対して、参勤交代や手伝普請（大規模な土木工事）などの経済的負担が大きい義務を強制できた背景にある、土地支配の仕組みに関する説明として適切なものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 将軍が大名の領地を一時的に変更したり没収したりできる強力な権限を持っていたため | 2. 大名が領地から得る年貢のすべてを、幕府が一度回収してから再分配していたため | 3. 朝廷がすべての大名を任命し、幕府に従わない場合は官位を剥奪すると定めていたため | 4. 大名同士の婚姻や城の修理を自由に行うことを認める代わりに、軍事的な奉仕を求めたため |
|--|--|--|--|

問4 江戸時代の長州藩における銀支出の内訳を記した史料によると、藩内での経費が約54パーセントであるのに対し、江戸での経費が約37パーセント、その他が約9パーセントとなっています。このように、大名が江戸と領地を一年おきに往復する制度によって生じた多額の経済的負担について、幕府の狙いとして最も適切な説明はどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 参勤交代によって多額の旅費や江戸滞在費を支出させ、大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱の力を抑えるため。 | 2. 大坂の蔵屋敷を通じた米の売買を大名に強制し、その手数料を徴収することで、幕府の財政を安定させるため。 | 3. 長崎での海外貿易の管理を大名に交代で担当させ、貿易利益を幕府が独占する仕組みを維持するため。 | 4. 京都の朝廷を警護するための費用を大名に負担させ、武家が公家を圧倒していることを示すため。 |
|--|---|---|---|

問5 18世紀後半に起きたアメリカ独立戦争の背景と、その歴史的意義について述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. イギリスによる茶への課税などの重税に対し、植民地側が「代表なくして課税なし」と唱えて反発したことがきっかけとなった。 | 2. 明治維新を成し遂げた日本の使節団から新しい憲法の草案を譲り受け、それを模範として共和制の国家を建設した。 | 3. フランス革命の成功に刺激を受けた北米の植民地の人々が、ナポレオンによる支配から脱却するために開始した。 | 4. イギリスの植民地であったカナダやインドと共同戦線を張り、全世界の植民地を一齐に独立させることを目的とした。 |
|---|---|--|--|

問6 18世紀末から19世紀初頭にかけて、ヨーロッパではフランス革命やナポレオンの台頭により国際情勢が激変しました。この時期、日本の長崎・出島で行われていた貿易の背景にあるヨーロッパの状況として正しいものはどれですか。（2023年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. フランスがオランダを支配下に置いたことで、オランダ本国が事実上消滅していた。 | 2. アメリカが独立を宣言した影響で、オランダに代わってアメリカが出島での貿易を独占した。 | 3. イギリスで産業革命が起こったため、オランダは日本への工業製品の輸出を停止した。 | 4. フランスで人権宣言が出されたことを受け、江戸幕府はキリスト教普及の恐れからオランダ船の入港を拒否した。 |
|---|---|--|--|

問7 江戸時代の農村における経済の変化と、それに伴う社会への影響について説明したものととして正しいものはどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 商品作物の栽培で現金収入を得て富を蓄える農民が現れる一方、土地を手放す農民も現れ、貧富の差が拡大した | 2. すべての年貢が米から貨幣による納入に切り替わったため、農村から自給自足の仕組みが完全に消滅した | 3. 幕府が農民に対して商業への転職を推奨したため、多くの農村が解体され都市へと吸収された | 4. 農村への貨幣経済の浸透を防ぐため、幕府は商品作物の栽培を全国的に禁止する法令を出した |
|---|--|---|---|

問8 18世紀後半、福島県の白河藩主から老中に就任した松平定信は、幕府の権威を立て直すために「寛政の改革」を行いました。この改革において、幕府の学問所である昌平坂学問所で行われた、朱子学以外の儒学の講義や研究を禁止した政策の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2023年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|----------|---------|-----------|
| 1. 寛政異学の禁 | 2. 享保の改革 | 3. 上米の制 | 4. 株仲間の解散 |
|-----------|----------|---------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 島原・天草一揆、生類憐みの令の発出、田沼意次の老中就任、大塩平八郎の乱	江戸時代初期の1637年に九州で島原・天草一揆が起こり、幕府の禁教政策が強まりました。17世紀末には第5代将軍徳川綱吉によって生類憐みの令が出され、18世紀後半には田沼意次が老中として株仲間の奨励などの重商主義政策を展開しました。そして19世紀前半の1837年、天保の飢饉への対応を不満として大塩平八郎の乱が発生しました。
問2	答え 1 産業革命	イギリスで始まった産業革命によって、欧米諸国は圧倒的な生産力と軍事力を手に入れました。その結果、原材料や市場を求めてアジアへの進出を強めることとなり、日本が江戸時代末期に開国を迫られる国際情勢の背景となりました。
問3	答え 1 将軍が大名の領地を一方的に変更したり没収したりできる強力な権限を持っていたため	幕府は大名に対し、領地を別の場所へ移す「領地替え」を命じる権限を持っていました。大名にとって領地を失うことは家系の断絶を意味するため、幕府の命令は絶対的なものでした。この強力な主従関係があったからこそ、幕府は大名に対して参勤交代や多額の費用がかかる土木工事などの重い負担を課することが可能でした。
問4	答え 1 参勤交代によって多額の旅費や江戸滞在費を支出させ、大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱の力を抑えるため。	徳川家光によって武家諸法度で制度化された参勤交代は、大名に江戸と領地を一年おきに往復させるものでした。長州藩の支出データが示す通り、江戸での滞在費や道中の旅費は藩の財政を大きく圧迫しました。この制度には、大名に多額の経済的負担を強いることで、軍勢力（戦費）を蓄えさせず、幕府への反乱を防止するという政治的な意図がありました。また、大名の妻子を人質として江戸に居住させたことも、統制を強める大きな要因となりました。
問5	答え 1 イギリスによる茶への課税などの重税に対し、植民地側が「代表なくして課税なし」と唱えて反発したことがきっかけとなった。	当時のイギリスは、フランスとの戦争費用を賄うために北米の植民地に対して様々な増税を行いました。これに対し、本国の議会に代表を送る権利を持たなかった植民地側は「代表なくして課税なし」と主張して対立を深めました。これがアメリカ独立戦争の大きな要因です。この革命は、その後のフランス革命などにも大きな影響を与えました。日本の明治維新は1868年から始まる変革であり、1770年代に起きたアメリカ独立戦争がその影響を受けることは時期的にあり得ません。
問6	答え 1 フランスがオランダを支配下に置いたことで、オランダ本国が事実上消滅していた。	18世紀末に勃発したフランス革命の後、ナポレオン率いるフランスがヨーロッパ各地へ勢力を拡大し、オランダを自国の支配下に置きました。このナポレオン戦争の影響により、ヨーロッパにおけるオランダ本国は一時的に消滅しましたが、日本の出島にあるオランダ商館では、フランス支配下にあるという複雑な国際情勢の中で、オランダの旗を掲げ続けて交易が継続されました。
問7	答え 1 商品作物の栽培で現金収入を得て富を蓄える農民が現れる一方、土地を手放す農民も現れ、貧富の差が拡大した	商品作物の栽培や手工業が盛んになると、経営に成功して地主となるような有力農民が現れる一方で、貨幣経済の波に乗れず土地を手放して小作人になったり、都市へ働きに出たりする農民も増えました。このように、貨幣経済の浸透は農村内での階層分化（貧富の差の拡大）を引き起こす要因となりました。
問8	答え 1 寛政異学の禁	松平定信は、武士の綱紀を正し、幕府への忠誠心を高めるために、儒学の中でも特に上下の秩序を重んじる朱子学を正学と定めました。これにより、昌平坂学問所において朱子学以外の学問を教えることを禁じ、思想的な統一を図りました。